

事業名 : 有子山城築城 450 周年記念 e スポーツ大会

団体名 : 有子山城築城 450 周年事業実行委員会

1 事業内容

日時 8月23日

場所 出石永楽館 (豊岡市出石町柳 17-2)

内容 ・有子山城築城 450 周年記念 e スポーツ大会 「有子山城決戦夏の陣」 の開催。

- ・大会の冒頭や休憩時間にスクリーンで有子山城跡を紹介。
- ・観戦者には知っているお城の名前を付箋に記入していただき、これをボードに「450th」の形に張り付けるワークショップを開催。

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6月6日	大会内容について協議	神戸電子専門学校 (神戸市)	5 名
6月12日	実行委員会	豊岡市役所出石庁舎	15 名
6月20日	神戸電子の先生・学生と 大会会場での協議	出石永楽館	8名
7月16日	実行委員会	豊岡市役所出石庁舎	18 名
8月20日	実行委員会	豊岡市役所出石庁舎	13 名
8月 22 日	会場準備	出石永楽館	15 名
8月 23 日	イベント当日	出石永楽館	約 100 名

このほか神戸電子専門学校とはオンライン会議、メールでのやり取りを随時行った。

2 事業の効果

(1) 団体 (組織) 内の効果

有子山城築城 450 周年事業実行委員会は、国史跡有子山城跡を広く周知するために関係団体により組織された団体であり、この e スポーツ大会もその事業の一つとして開催した。本事業を開催したことにより、関係団体との連携が密となり、実行委員会の結束が強くなり、今後の記念事業開催へのモチベーションの向上やノウハウの蓄積がなされたと考える。

(2) 地域への波及

16 名の競技参加者と 77 名の観戦者があった。当日は酷暑が予想され、集客は控えた。参加者には、地元の小学生やそば職人、石川県・山口県などの遠方からの参加もあった。地域への周知方法としては、出石地域へのチラシ回覧や市のホームページ、市内高校でのポスター掲示など、記念事業を広く PR でき、学生たちが多く観覧してくれた。本事業によって、記念事業がより地域に波及したと考える。

3 協働の相手方

神戸電子専門学校 espors エンジニア学科が授業活動の一環として企画、運営に協力していただいた。当日もパソコンやモニター、競技用のゲーム機・イスなど多くの機材を学校が提供してくれた。学生 7 名は夏休みを返上して入念に準備し、当日は、参加者が気持ちよくプレーできるようにと、プレーヤーに寄り添った運営を心掛けてくれた。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

有子山城築城 450 周年は今年限りであるが、「城」や「城下町」をテーマとして関係団体が協力する前例がつくれた。今後も同様の対応ができるよう、主な関係団体による定例会議の開催を検討する。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

住んでいる地域だけで完結する事業ではなく、他地域とも連携していくことが大切と考えられる。今回のように「城」や「e スポーツ」といったつながりで活動を拡大していきたい。



6年8月23日 イベント冒頭に司会者が有子山城跡の説明をしている様子



6年8月23日 ストリートファイター6で対戦をする選手と観客の様子



6年8月23日 表彰式で舞台装置のセリから登場する表彰者の様子



6年8月23日 450th を模った用紙に、来場者が自分の知っているお城の名前を付箋に書いて貼るサブイベント